

## 香川県教育委員会 2月定例会会議録

1. 開催日時 令和4年2月8日(火)

開 会 午前9時00分

閉 会 午前10時44分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教育長	工代祐司
委員	小坂真智子
委員	平野美紀
委員	藤澤茜
委員	木下敬三
委員	蓮井明博

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長	小川秀樹
教育次長兼政策調整監	海津洋
教育次長	小柳和代
総務課長	藪木泰伸
高校教育課長	金子達雄
保健体育課長	宮滝寛己
生涯学習・文化財課長	渡邊智子
政策主幹(兼)総務課副課長	佐々木隆司
義務教育課副課長	西部克彦
新県立体育館整備推進課主幹	安長清
総務課長補佐	本田実治博
義務教育課長補佐(兼)主任指導主事	山内秀則
義務教育課長補佐(兼)主任指導主事	中田祐二
高校教育課長補佐	小笠原千里
高校教育課長補佐	山下利美
人権・同和教育課長補佐	逢坂晃子
健康福利課長補佐	玉井加々利
特別支援教育課副主幹	山地理代
義務教育課主任指導主事	河江奈緒美
高校教育課主任指導主事	亀田龍輔
特別支援教育課主任指導主事	鳥井口隆
総務課主任	猪池美智子
総務課主任	大原裕次郎

高校教育課主任	三 谷 進
高校教育課主任	高 森 俊 介
特別支援教育課主任	山 川 恵 梨
高校教育課指導主事	水 野 伸 吾
総務課主任主事	田 中 一 成
保健体育課主任主事	内 原 佑 扶 子
生涯学習・文化財課主事	安 藤 瑞 基

傍聴人 あり（1名）

## 5. 会議録の承認

1月定例会の会議録署名委員の小坂委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

## 6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第1号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に、また、議案第2号は、「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあるもの」に、議案第3号は、「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあること」及び「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあるもの」にそれぞれ該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

## 7. 議 案

○議案第1号 令和4年2月香川県議会定例会に提案される教育委員会関係議案に対する意見について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 優秀な児童及び生徒に対する表彰について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

8. その他事項

○その他事項1 令和4年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について  
高校教育課長から、令和4年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について説明。

【質疑・意見交換】

＜平野委員＞合格者の手続き率はどうなっているのか。

＜高校教育課担当＞県内からの入学志願者の入学予定者105名のうち103名が手続きを行い、2名が辞退した。また、全国からの生徒募集の入学予定者は2名とも手続を行ったと報告を受けている。

＜平野委員＞補欠入学予定者はいるのか。補欠入学予定者がいるならば、その方々が1月25日から2月25日までに手続きを行うということか。

＜高校教育課担当＞補欠入学予定者がおり、手続きもそのとおりである。

＜教育長＞さまざまな入試改革を実施したことで、平成30年度からは競争率も増加しているが、近年では右肩下がりの傾向となっている。高松北中学校も高松北高校もスポーツ面でも勉強面でも頑張っており、ある程度の評価を受けてきていると思うが、児童生徒の減少などさまざまな要素が絡んで、このような傾向になっているのだろうか。

＜高校教育課長＞現在、その分析はできていないので学校にも確認したい。東讃地区の中学校等から聞く話では、高松北中学校に対して地元から生徒を抜かれたくないという思いもあり、地元市町の中学校が頑張っていることも影響しているのではないかと考えている。

＜木下委員＞今回の全国からの生徒募集で受検した生徒のように、スポーツをしたいということで入学を希望する生徒は多いのか。最近では民間のスポーツクラブに所属して全国を目指している事例の方が多いと考えるがいかがか。

＜高校教育課長＞今回受検した生徒も民間のスポーツクラブに所属していると聞いているが、民間のスポーツクラブの所属でも学校の部活動に所属しなければ、中学校や高校の公式大会には出場できない。中学総体や高校総体への出場を考えた場合は、スポーツクラブに通いながら学校の部活にも所属するといった生徒が増えてきていると考えている。

＜平野委員＞入学を辞退した生徒2名の辞退理由は把握しているのか。

＜高校教育課担当＞現時点では、明確な理由は把握していない。地元の中学校に行くのか高松北中学校に行くのかを迷っている中で受検し、最終的に地元を選択した受検生もいたと聞いている。

＜小坂委員＞倍率が減少傾向にあり、地元中学校との生徒の奪い合いとなっている

感がある。私の地元では、子どもが高松北高校で実施しているフェンシング教室に通っていて、部活動でフェンシングをやりたいとの理由から高松北中学校を希望しているということを知ったことがある。子どもたちの意識は、部活動など自分がやりたいことが高松北中学校ならできるから行きたいのだと思う。高松北中学校、高松北高校は行きたいと思われる魅力的な学校であると思うので、来年度の募集に向け、問題や課題を検討していただきたい。